

平成24年度 全国歴史資料保存利用機関
連絡協議会関東部会 総会開催記念講演会

(第266回定例研究会を兼ねています。)

1 日 時

平成24年5月23日(水)

午後2時45分から4時45分まで

2 会 場

戸田市立図書館・郷土博物館 2階視聴覚室

3 演 題

『東日本大震災における仙台市史編さん室の活動
～被災資料レスキューにおけるマネージメント～』

4 講 師

菅 野 正 道 氏(仙台市博物館市史編さん室長)

5 申込み

平成24年5月20日(日)まで受付

※申込みは、戸田市立郷土博物館(048-443-5600)へ電話。

会員は、別紙「平成24年度総会及び講演会等申込書」をご利用ください。

東日本大震災からはや1年が経過しました。被災地における復興への道のりは厳しいものがありますが、着実な復旧のために、様々な支援を継続していきたいと思います。関東部会では、昨年に引き続き東日本大震災関係の例会を開催いたします。本年の総会講演会では、被災地における地域資料保全活動の生の声をお届けいたします。

全史料協の機関会員でもある仙台市博物館市史編さん室は、宮城県内の自治体や宮城資料ネットと連携しながら、被災資料レスキュー活動を牽引してきました。そして震災発生およそ1ヶ月後から、独自に市内の歴史資料所蔵者宅を回る「市内巡回調査」を行って所在確認につとめ、地域資料の保全に大きな役割を果たされました。その成果は、「東日本大震災における資料レスキュー活動」(「市史せんだい」21号 2011年11月)に公表されています。

今回は菅野正道氏に、どのように若手職員に活躍の場を与え被災資料レスキュー活動に取り組んだのか、また宮城県の実例をもとに、地域における資料保全ネットワークに組織として参加するあり方について、「市史編さん室長」としての立場から主にマネジメント面を中心にお話してもらいます。震災を契機に、資料救済やネットワーク形成等の活動が各地で活発化していますが、大変参考になる講演です。沢山の方々に参加していただければ幸いです。

6 その他

非会員の方は、資料代300円をご負担願います。